

価値創造ストーリー

行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」

CSR 憲章「3つの共存共栄」

サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

目指す姿

「Sustainability Design Company」

～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる

～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

社会的課題の解決による企業価値向上

持続可能な社会の創出

INPUT ▶ 活用する資本

財務資本

- 収益構造の多様化
- 健全な貸出資産 (2019年3月期)
貸出金期中平均残高 3兆6,967億円
金融再生法開示債権比率 1.36%
- 充実した自己資本 (2019年3月末)
総自己資本比率(連結) 15.68%
- 従業員一人当たり貸出金 全国 10位
(2018年3期:出所:金融ジャーナル)
- 有価証券含み益 全国 5位
(2018年9月末:出所:ニッキンレポート)

人的資本

- 高度な金融知識を有する人材
- 地銀トップクラスの金融資格取得者数 (2019年3月末)
FP 1級取得者数 188名
FP 2級取得者数 1,299名
中小企業診断士 43名
- 地域貢献、やりがいを重視する企業風土
女性管理職比率 26.74% (2019年3月末)

知的資本

- 多様な金融手法
- 充実のコンサルティング機能
格付コミュニケーション・サービス実施先 累計 4,684先
- 環境経営、SDGsへの取り組み
- デジタルイノベーションへの対応

社会関係資本

- 地域に密着した店舗網
- アジアネットワーク 3拠点
- 人口減少率が緩やかな地域
- 学術拠点、企業の研究所が集積
- 「三方よし」の精神を受け継ぐ地域社会

自然資本

- 琵琶湖、生物多様性豊かな自然環境
- 国宝・重要文化財の宝庫

滋賀銀行の強み

共存共栄の歴史

- 地域社会の発展に貢献、CSR経営

強靱な経営基盤

- マーケット優位性×高いシェア

高いリスク管理能力

- 地銀初の内部格付手法採用 (2007年3月)
- リスク・アパタイト・フレームワークを活用

環境経営とSDGsの推進

- 本業で地球環境を守る地銀初の「しがぎんSDGs宣言」
- 第2回ジャパンSDGsアワードで「特別賞」を受賞

滋賀銀行のビジネスモデル

「第7次中期経営計画」

基本戦略

(未来創造挑戦項目)



業務戦略



重点取組項目



OUTCOME ▶ 提供する価値

お客さま

- 地域の収益力・生産性の向上
- お客さま本位の業務運営の実践を通じた資産形成
- 多種多様なソリューションの提供による事業への貢献
- 利便性の向上

株主・投資家

- 中長期的な株主価値の創造
- 非財務を含む透明性の高い情報開示
- エンゲージメントの推進

役職員

- 生き生きとした集団
- 夢ややりがいを持って自己実現が図れる組織
- 多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを実現
- ダイバーシティを持つ組織

環境・社会

- 共有価値の創造(経済的価値と社会的価値の両立)
- 本業を通じた社会的課題の解決
- 社会的インパクトの実現
- CO₂排出量の削減

持続可能な社会に向けたさらなる課題の共有

企業価値創造を支える仕組み

